



明武
潘 228
卷 4

濟南
裏
錄
下
卷

その中の血、動脈から出て、静脈に集まり、心臓に送られる。心臓は、この血を再び動脈に送り出し、全身に送る。このように、血は常に循環している。血の循環は、呼吸と密接に関連している。呼吸は、血中の酸素と二酸化炭素の交換を促進し、血の循環を維持する。また、血の循環は、体温調節にも重要な役割を果たしている。血が流れることで、体の各部分に熱が運ばれ、体温が一定に保たれる。逆に、血が流れないと、体の一部が冷たくなり、健康を害する。したがって、血の循環を良く保つことは、健康を維持するために不可欠である。

血の循環は、心臓と血管によって行われる。心臓は、血をポンプのように送り出す役割を果たしている。血管は、心臓から全身にまで血を運ぶための通路である。動脈は、心臓から遠くへ血を送るための血管で、血圧が高くなる。静脈は、遠くから心臓へ血を運ぶための血管で、血圧が低い。また、毛細血管は、動脈と静脈の間にあり、体の各部分にまで血を届ける役割を果たしている。毛細血管は、非常に細く、細胞と直接接している。このように、血の循環は、心臓、動脈、静脈、毛細血管によって行われる。血の循環が正常に行われることで、体の各部分に十分な酸素と栄養が供給され、健康を維持することができる。

濟東錄卷四終



